

小麦赤かび病の防除対策について

平成 22 年 5 月 10 日
病 害 虫 防 除 所

今年の小麦の生育はやや遅れています。小麦赤かび病の防除にあたっては下記の事項に留意して下さい。

なお、農薬の使用にあたっては、使用回数、使用時期等の使用基準を遵守して下さい。

記

- 1 開花期（出穂期の 7～10 日後頃）とその 7～10 日後の薬剤防除を徹底する。
- 2 出穂期がやや遅いと予想されるので、生育状況に注意し適期防除を徹底する。
- 3 出穂期から乳熟期にかけて、雨が多く高温で経過すると発生が多くなるので、降雨が続く場合は雨の合間をみて防除する。

＜ 防除薬剤 ＞

対象病虫害名	防 除 方 法	注 意 事 項
小麦 赤かび病	トップジンM水和剤 1,500 倍 トップジンM粉剤DL 4 kg/10 a チルト乳剤 25 1,000 倍 シルバキュアフロアブル 2,000 倍 のいずれかを開花期とその 7～10 日後に散布する。	耐性菌出現防止のため、同一系統薬剤（チルト乳剤 25、シルバキュアフロアブルは E B I 剤で同一系統）の連用を避ける。